



2023年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年12月14日

上場会社名 リンカーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5131 URL https://corp.linkers.net
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 江頭 宏一 TEL 03 (6822) 9585
 四半期報告書提出予定日 2022年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第1四半期の業績 (2022年8月1日～2022年10月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-----|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年7月期第1四半期 | 363 | — | △17 | — | △23 | — | △26 | — |
| 2022年7月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年7月期第1四半期 | △2.18 | — |
| 2022年7月期第1四半期 | — | — |

- (注) 1. 2022年7月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年7月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 2023年7月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年7月期第1四半期 | 1,932 | 1,705 | 88.3 |
| 2022年7月期 | 1,715 | 1,466 | 85.5 |

(参考) 自己資本 2023年7月期第1四半期 1,705百万円 2022年7月期 1,466百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年7月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年7月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年7月期 (予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年7月期の業績予想 (2022年8月1日～2023年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,192 | 55.2 | 169 | 158.9 | 158 | 149.6 | 150 | 206.2 | 11.55 |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 1株当たり当期純利益については、公募による新株式数(966,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年7月期1Q | 13,236,000株 | 2022年7月期 | 12,270,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年7月期1Q | 一株 | 2022年7月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年7月期1Q | 12,343,500株 | 2022年7月期1Q | 一株 |

(注) 2022年7月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」は記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第1四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (追加情報) | 6 |
| (セグメント情報) | 6 |
| (重要な後発事象) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものです。なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、各種政策の効果もあり、経済社会活動の正常化が進んできました。しかし、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料の高騰や物価上昇、さらには米国の金融政策等による急激な円安の進行など国内経済への影響は大きく、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社は、「マッチングで世界を変える」というミッションのもと、企業と企業の出会いのあり方を見直し、従来の産業構造では成し得なかった最適な出会いを提供することで、多くのイノベーションを生み出す産業のしくみを国内外に築き、産業全体の生産性を最大化するための連携のハブとなる企業を目指すために、マッチングプラットフォームの運営を中心としたビジネスマッチング事業を展開しております。

サービス内容としては、ニーズ起点のマッチングを手掛ける技術探索サービス「Linkers Sourcing」、シーズ起点のマッチングを手掛ける用途開拓サービス「Linkers Marketing」、調達支援サービス「Linkers Trading」、SaaS型の金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、及び当該事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」の提供による探索・マッチングサービスと、技術ニーズ・シーズの調査を手掛ける「Linkers Research」を中心としたリサーチサービスを主たるサービスとしております。

当社が取り組むビジネスマッチング事業は、企業研究費の投下による新技術創出への動向や、製造業を中心とした設備投資への投資再開、地域金融機関の収益多様化に向けた取り組みなど、オープンイノベーションへの投資領域の拡大に伴い、今後も需要は拡大していくと想定しております。一方で、長期化している新型コロナウイルス感染症や、サプライチェーンの混乱による企業活動の停滞が、ものづくりの現場を直撃しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような事業環境の中、探索・マッチングサービスにおいては、「Linkers Sourcing」並びに「Linkers Marketing」においては、着手案件数が64件と拡大するとともに、前事業年度から引き続いて、政府によるカーボンニュートラルへの取組強化を背景としたアルミニウムのリサイクル素材サプライヤー探索を手掛けた「Linkers Trading」が堅調に推移いたしました。

また、金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」が新たに2機関へ導入完了したことで、事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」と合わせた「LFB」全体の累積導入機関数が31機関となったことから、ストック収益基盤が大きく拡大いたしました。

リサーチサービスにおいては、複数の企業に参加を募り、その調査結果を参加企業に限定して提供するマルチクライアントリサーチが、近年注目度の高い生体センシング技術等を企画設計したレポート販売が好調であったこともあり、「Linkers Research」の調査件数が93件となったことから売上も好調に推移いたしました。

一方、コスト面については、「Linkers Trading」サービスによる仕入高の発生、「Linkers Research」の売上増加に伴うリサーチ外注費用の増加、並びに将来の業容拡大に向けた採用強化による人件費等が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は363,265千円、営業損失17,649千円、経常損失23,983千円、四半期純損失26,852千円となりました。

なお、当社はビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ217,485千円増加の1,932,983千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加139,709千円、売掛金の増加50,473千円、ソフトウェアの増加22,793千円等によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ22,277千円減少の227,007千円となりました。これは主に、未払法人税等の増加2,846千円の一方で、賞与引当金の減少13,900千円、借入金の返済による長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少15,832千円等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ239,763千円増加の1,705,975千円となりました。これは、公募増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ133,308千円増加し、四半期純損失26,852千円の計上によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期の業績予想につきましては、2022年10月26日に「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて公表いたしました通期業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年7月31日) | 当第1四半期会計期間 (2022年10月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,197,266 | 1,336,976 |
| 売掛金 | 134,557 | 185,031 |
| 商品及び製品 | 3,251 | — |
| 仕掛品 | 10,978 | 10,431 |
| その他 | 46,423 | 64,610 |
| 流動資産合計 | 1,392,477 | 1,597,050 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 45,616 | 44,712 |
| 工具、器具及び備品 | 13,000 | 12,254 |
| 有形固定資産合計 | 58,617 | 56,967 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 129,168 | 151,962 |
| ソフトウェア仮勘定 | 27,101 | 21,775 |
| 無形固定資産合計 | 156,270 | 173,737 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 60,636 | 60,029 |
| 繰延税金資産 | 33,351 | 31,054 |
| その他 | 14,144 | 14,144 |
| 投資その他の資産合計 | 108,133 | 105,229 |
| 固定資産合計 | 323,020 | 335,933 |
| 資産合計 | 1,715,498 | 1,932,983 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 51,454 | 47,496 |
| 未払法人税等 | 530 | 3,376 |
| 賞与引当金 | 18,880 | 4,980 |
| 役員賞与引当金 | 6,120 | — |
| その他 | 120,211 | 130,939 |
| 流動負債合計 | 197,195 | 186,791 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 52,090 | 40,216 |
| 固定負債合計 | 52,090 | 40,216 |
| 負債合計 | 249,285 | 227,007 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 233,308 |
| 資本剰余金 | 841,875 | 975,183 |
| 利益剰余金 | 524,337 | 497,484 |
| 株主資本合計 | 1,466,212 | 1,705,975 |
| 純資産合計 | 1,466,212 | 1,705,975 |
| 負債純資産合計 | 1,715,498 | 1,932,983 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 363,265 |
| 売上原価 | 140,838 |
| 売上総利益 | 222,427 |
| 販売費及び一般管理費 | 240,076 |
| 営業損失(△) | △17,649 |
| 営業外収益 | |
| その他 | 27 |
| 営業外収益合計 | 27 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 273 |
| 株式交付費 | 4,558 |
| 上場関連費用 | 1,500 |
| その他 | 28 |
| 営業外費用合計 | 6,360 |
| 経常損失(△) | △23,983 |
| 税引前四半期純損失(△) | △23,983 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 572 |
| 法人税等調整額 | 2,297 |
| 法人税等合計 | 2,869 |
| 四半期純損失(△) | △26,852 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年10月26日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年10月25日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式966,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ133,308千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が233,308千円、資本剰余金が975,183千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大による影響について)

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間（自 2022年8月1日 至 2022年10月31日）

当社は、ビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当第1四半期会計期間終了後、当社が2013年8月23日に発行した第3回新株予約権、2017年10月27日に発行した第9回新株予約権、2018年5月7日に発行した第10回新株予約権について、新株予約権の行使が行われております。2022年11月1日から2022年12月14日までの新株予約権の行使の概要は以下のとおりであります。

| | |
|--------------------|---------------|
| (1) 行使された新株予約権の個数 | 372個 |
| (2) 発行した株式の種類及び株式数 | 普通株式 372,000株 |
| (3) 資本金増加額 | 2,680千円 |
| (4) 資本準備金増加額 | 2,680千円 |

以上により、2022年12月14日現在の発行済株式総数は13,608,000株、資本金は235,988千円、資本剰余金は977,863千円となっております。